



# 東アジア・サマースクール

East Asia Summer School

## 1. 開催趣旨

平成22年の「第1回東アジア地方政府会合」において、これからの東アジアのリーダーとしてグローバルに活躍できる人材育成の必要性が提案され、平成23年より、東アジア各国の大学生・大学院生等を対象にした短期合宿型セミナー「東アジア・サマースクール」を実施しています。

平成25年度においては、これまでの成果を踏まえつつ、下記の要領で実施します。

## 2. 第3回東アジア・サマースクール2013の開催について

開催日程	平成25年8月17日(土)～31日(土) 15日間
主催	奈良県・奈良県立大学
実施会場	奈良県立大学ほか
受講対象	地方政府もしくは所属大学から推薦された東アジア各国の大学生・大学院生等

講義



グループ討議



カリキュラム

視察体験



成果発表



### 3. 参加状況

	開催日	参加国(人数)	受講者数
第1回	平成23年 7月18日(月) ～8月6日(土)	中国(18名)	38名
		韓国(11名)	
		日本(9名)	
第2回	平成24年 7月23日(月) ～8月12日(日)	中国(12名)	38名
		韓国(5名)	
		ベトナム(2名)	
		日本(19名)	
第3回	平成25年 8月17日(土) ～8月31日(土)	中国(14名)	45名 (予定)
		韓国(10名)	
		ベトナム(2名)	
		日本(19名)	



第1回開催時



第2回開催時

### 4. カリキュラム構成

#### (1) 東アジア各国の違いや類似点を正確に認識できるカリキュラムを創造します。

- 東アジア共有の知識を学ぶと共に、互いの違いや類似点への気づきを促す講義を目指します。
- 東アジア各国の歴史や文化、政治、経済、環境、科学技術など各分野の著名な教授陣などによる講義を展開します。

#### (2) 受講者同士の信頼関係と親近感を醸成します。

- 文化や価値観の違いを理解し、受け入れるために必要な対話の場作りを展開していきます。

#### (3) 奈良の地域を活用したカリキュラムを展開します。

- 県内の文化遺産や先端技術、生活文化などを体験・習得できるカリキュラムを展開していくことで「東アジア・サマースクール」と地域との繋がりを深めていきます。
- 「東アジア・サマースクール」の展開を通じて、奈良県と東アジアとの人的交流を推進していきます。

### 5. 受講生の感想

- 言語の交流だけでなく、心からの交流も大切だと思った。(中国 甘肅省からの受講生)
- 東アジアがこれからどう進むべきなのか考えてみる。(韓国 慶尚北道からの受講生)
- 東アジアの方と文化交流することができ、忘れがたい体験となり、いい思い出ができた。(ベトナム フェエ省からの受講生)
- このような取り組みが故郷の奈良で行われていることに誇りを持たたと同時に東アジアの調和に寄与していくと確信した。(橿原市からの受講生)